

# 滋賀県平和祈念館 年報

第12号

(令和5年度)



滋賀県平和祈念館

## はじめに

滋賀県平和祈念館は、平成 24 年 3 月、「語りつぐ 平和へのねがい」を指針として開館し、その後、県民のみなさまのご支援により順調に活動をひろげ、以来 12 年を経過しました。この間の本館の活動については、『滋賀県平和祈念館 年報 第 1 号』を平成 25 年 12 月に刊行し、その後は各年度の活動について、それぞれ『年報』にまとめ、報告してきたところです。

令和 5 年度は、長く続いたコロナ禍が少しずつ以前の日常を取り戻すようになり、本館の来館者と出前授業・講座の利用者を足した利用者数も、令和元年の 2 万 8 千人の水準を超えるまで戻ってきました。

さて、本館の運営にあたっては「モノと記憶の継承」、「自らできることのきっかけづくり」、「県民参加型の運営」という三つの基本理念のもとで、県民のさまざまな戦争体験を語りつぐ事業として、資料収集保存をはじめ、展示、普及啓発、平和学習支援、ボランティア活動支援などの諸事業を展開しています。

令和 5 年度の企画展示事業としては、前年度から引き続き公開した第 32 回企画展示「戦争と女学生―戦時下の学校生活と進路―」、7 月 1 日からは第 33 回企画展示「滋賀県民が見た中国の戦場」、令和 6 年 1 月 5 日からは第 34 回企画展示「暮らしの中の戦争―日々の生業と食事―」を、地域交流室では 11 月 1 日から 2 月 25 日まで「破られた約束―太平洋戦争下の日系カナダ人―」を展示しました。また、東近江市戦争遺跡の会の依頼により、東近江市で発見された戦闘機「飛燕」のエンジンを 9 月 28 日から仮展示しました。

子ども向けの普及啓発事業では、『平和の学校あかり』を 7 回実施し、『平和を願う子どもピースメッセージ絵画コンクール』には、県内小・中学校 40 校から 842 点の応募があり、小中学校別に 3 部門の優秀な作品 6 点に対し、「知事賞」を授与しました。

一般向けの普及啓発事業では、端信行前館長による「平和塾つなぎ人」、映画上映会を毎月開催するとともに、新たに毎月第三土曜日に「平和教養講座」を開設し、11 月 5 日には「米原の戦争遺跡をめぐる」フィールドワークを行いました。また、8 月の平和祈念 week では、映画上映会などは実施いたしましたが、台風接近のため 8 月 14・15 日に予定されていた行事は中止となりました。3 月の開館 12 周年記念 week では「大人のための歴史教室」として「アジア太平洋戦争の終わらせ方」というテーマで、佛教大学名誉教授の原田敬一氏の講演がありました。

本館では開館前よりボランティアの募集を始め、現在、51 名の登録メンバーによりさまざまなグループ活動が行われています。3 月の開館 12 周年記念 week では、演劇グループの演劇「死神(赤紙)配達人と指さされ」、手紙等解読グループの「特攻兵と遺族の想い」、戦時食グループの「一汁一菜」が披露されました。

そして、DX 推進事業により、「戦争証言 2023」、「滋賀に残る戦争遺跡―湖南編―」の DVD 制作に加え、音声ガイドシステム「ポケット学芸員」を導入しました。

これからも祈念館にご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

令和 6 年 (2024 年) 8 月

滋賀県平和祈念館 館長 朝倉 敏夫

# 目 次

## I 事業概要

### 1 展示事業

- (1) 基本展示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- (2) 企画展示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- (3) 企画展示関連事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
- (4) エントランスバナー・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
- (5) 地域交流室展示・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
- (6) 収蔵品展示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
- (7) 図書・映像コーナー・・・・・・・・・・・・・・9
- (8) 他館(市町)との連携展示・・・・・・・・・・9
- (9) その他の展示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9

### 2 資料収集保存事業

- (1) 戦争体験聞き取り調査・・・・・・・・・・・・11
- (2) 収蔵資料の整理・保存・・・・・・・・・・・・12

### 3 普及啓発事業

- (1) 平和教養講座・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
- (2) 開館12周年事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
- (3) 平和を祈念する日事業・・・・・・・・・・・・15
- (4) フィールドワーク・・・・・・・・・・・・・・16
- (5) 映画上映会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
- (6) 平和の学校あかり・・・・・・・・・・・・・・17
- (7) 平和を願う子どもピースメッセージ絵画コンクール・・19
- (8) 平和塾・つなぎ人・・・・・・・・・・・・・・22

### 4 平和学習支援事業

- (1) 来館学習・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
- (2) 出前授業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24
- (3) 地域への平和学習支援・・・・・・・・・・・・25
- (4) 資料の貸出による平和学習支援・・・・・・・・25
- (5) 戦争体験者証言映像の制作・・・・・・・・・・26
- (6) 滋賀に残る戦争遺跡映像の制作・・・・・・・・27

### 5 ボランティア活動支援事業・・・・・・・・・・・・28

### 6 DX（デジタルトランスフォーメーション）推進事業

- (1) データベースの公開・・・・・・・・・・・・・・29
- (2) 展示ガイドアプリの導入・・・・・・・・・・・・29

## II 資料

- 1 利用状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30
- 2 広報活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・35
- 3 組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・37
- 4 決算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・38
- 5 施設概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・39
- 6 利用案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・40
- 7 関係規程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・41

## I 事業概要

### 1 展示事業

#### (1) 基本展示

基本展示は年間を通して見学できる常設の展示であり、滋賀県民と戦争の係わりや地域における戦争の影響など、かつて県民が経験した 15 年にわたる戦争全体を概観する内容となっている。

展示は滋賀県の地域ごとに戦争に関係した場所を紹介する「地域展示」と、収蔵資料や滋賀県民の戦争体験談を中心に、県民が体験した戦争の概要を伝える「滋賀県と戦争」の2つのコーナーで成り立っている。「地域展示」では、地域ごとの戦時中のデータ（当時の人口、戦没者数、軍事施設、主な軍需工場、空襲被害、集団学童疎開受入れ）を壁面パネル・柱パネル・床面の滋賀県航空写真で紹介している。

「滋賀県と戦争」では、県民の方々からの寄贈資料や体験談によって、戦争や戦場での体験と当時の県内の様子を紹介しており、コーナーの最後に現代の子どもたちの平和への願いを取り上げ、「平和を願う子どもピースメッセージ絵画コンクール」の受賞作品を世界地図ボードで紹介している。

なお、令和5年2月に東近江市内の工事現場の地中から見つかった旧日本陸軍戦闘機「飛燕（ひえん）」のエンジン（所蔵者：東近江市戦争遺跡の会）を、令和5年9月28日から新たに展示している。

また、映像スクリーンでは、企画展示に関連する戦争体験者の証言映像や令和4年度に制作した「戦争証言 2022」を常時上映した。



「地域展示」



戦闘機「飛燕」のエンジン

#### (2) 企画展示

##### 第32回企画展示『戦争と女学生』

会期 令和5年（2023年）1月5日（木）～6月25日（日）

会場 滋賀県平和祈念館企画展示スペース

前年度から継続して、第32回企画展示を開催した。

### 第 33 回企画展示『滋賀県民が見た中国の戦場』

会期 令和 5 年(2023 年) 7 月 1 日 (土) ～12 月 17 日 (日)

会場 滋賀県平和祈念館企画展示スペース

趣旨

明治時代の日清戦争、日露戦争を経て大陸への進出を行っていた日本は、昭和 6 年(1931 年)の満洲事変以降は中国との長期間にわたる戦争状態となり、それは昭和 20 年(1945 年)の終戦まで続いた。これらの戦争に滋賀県からも多くの方々が召集されて戦場に赴き、昭和初期に中国で戦死された滋賀県民は 7,000 人以上に上る。一方、従軍された方々以外に、慰問などのために中国戦線を訪れた滋賀県民もおられる。

今回の展示では、当時の中国やその周辺地域において滋賀県民が体験した戦争に関する記憶を、当館が長年にわたって収集してきた関係者の体験談やモノ資料で紹介した。

概要

#### 【明治時代の戦争―日清戦争・日露戦争―】

日本の大陸進出が始まった明治時代の戦争に関する資料を展示した。

#### 【15 年にわたる戦争のはじまり】

昭和 6 年の満洲事変や昭和 12 年からの日中戦争について、現地で従軍した方や南京などでの戦勝を祝う滋賀県内での提灯行列に参加した方などの体験談や関連資料を展示した。

#### 【太平洋戦争開戦】

昭和 16 年の太平洋戦争開戦の頃には、現在滋賀県が友好提携している中国湖南省も激しい戦争の舞台となった。湖南省で戦った滋賀県民の体験談や関連資料を展示した。

#### 【女性たちが見た戦地】

滋賀県は昭和 18 年に若い女性 7 人を中心メンバーとする皇軍慰問団を中国に派遣した。この慰問団に参加した方の体験談を紹介したほか、従軍看護婦として戦地の病院で働いた方、家庭や仕事の都合により当時中国で生活された方などの体験談や関連資料を展示した。



第 33 回企画展示

## 第 34 回企画展示『暮らしの中の戦争—戦時下の生業（なりわい）と食事—』

会期 令和 6 年(2024 年) 1 月 5 日（金）～ 6 月 23 日（日）

会場 滋賀県平和祈念館企画展示スペース

趣旨

昭和 6 年（1931 年）の満洲事変以降、日本は中国と戦争状態となり、太平洋にまで戦線が拡大していった。日本政府は戦争を遂行するために、暮らしの中にある資源や物資などを統制した。戦時中の人々は、どのように生活に必要な食物や日用品を手に入れたのだろうか。ある八百屋を営む方の証言によると、店頭に並ぶものは、当日に配給される品物のみとなり、次第に街の店舗は閉ざした状態となった。

農家は、収穫したお米の一定量を供出しなければならない。働き手を戦地へ送った家では、昼夜を問わず農作業を行った。しかし、家族が食べるための食糧を確保するのがやっとのことであったという。

配給品となった日用品や食糧は、十分な量が行き届かなくなり、人々は日々の食糧を求めて、物々交換や闇市へ行くことになった。敗戦後は、引揚者の増加などに伴い、食糧不足がさらに深刻となった。

第 34 回企画展では、平和祈念館が収集した体験談と関連資料をもとに、戦争によって物資や資源が統制され、日々の暮らしが変わりゆく様子を紹介した。

概要

### 【身近なものが代用品、配給品となった】

昭和 12 年（1937 年）に日中戦争が始まると、政府は、国民に対して戦争への協力を促し、国民に対して消費の抑制や代用品の活用を求めた。なかなか終わらない戦争による民需品の製造・販売の制限と軍需品への製造集中は、日々の生活に必要な食糧や日用品に影響を及ぼした。

### 【戦時体制下の資源—統制と供出—】

資源の乏しい日本は、多くの資源を輸入に頼っていた。戦争遂行のために、資源や物資を軍需品生産に集中させ、民需品の生産を制限していった。

### 【疲弊する銃後—変わりゆく街と農村—】

「お菓子屋さんといっても看板だけでした。」という証言のように、商売が厳しくなっていたといえる。

農村部も戦争の影響を受け、化学肥料も日中戦争以降は、配給品となった。また、働き手である成人男性は、戦地へ行かなければならなかった。「家族が食べるための食糧（「保有米」という。）を確保するのがやっとのことだった。」と、苦しい状況を語っておられる。

### 【食事と配給】

昭和 19 年（1944 年）に大阪から滋賀へ疎開してきた児童らの献立を記録した『炊事日誌』を紹介した。次第に減っていくご飯。限られた食材で献立を考える寮母さんの心情が記されていた。

終戦後は、引揚者の増加などに伴い、食糧不足がさらに深刻となった。

### 【戦後—食糧難と児童らの健康—】

終戦後は、食糧難とそれに伴う乳幼児や児童らの栄養失調の問題が明るみになった。

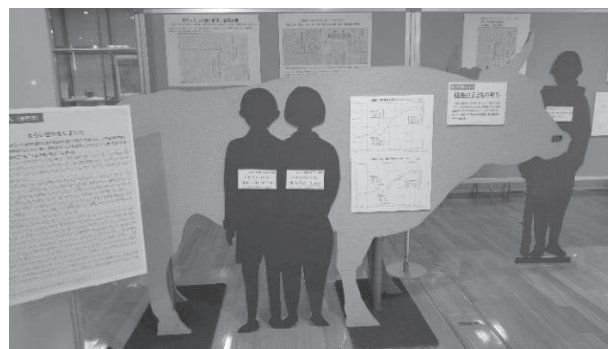


農家でも保有米が底をつき、ご飯を食べられなかったという。

戦後の食糧不足は、乳幼児や児童の生命を脅かした。戦争が終わっても、すぐに解決できない問題が残されていた。



第34回企画展示



### (3) 企画展示関連事業

#### ①企画展示説明会の開催

令和5年度は、企画展示会期中に担当学芸員による展示説明会を下記のとおりそれぞれ1回実施した。

第33回企画展示 令和5年7月9日(日) 参加者9名

第34回企画展示 令和6年1月14日(日) 参加者5名

#### ②企画展示関連動画の作成

令和4年度に引き続き、第32回企画展示の見どころを紹介する動画2本を制作し、YouTubeで配信した。第33回企画展示については、見どころを紹介する動画を5本制作し、YouTubeで配信した。第34回企画展示については、展示説明会の一部を動画として編集し、YouTubeで配信した。

#### ③『令和4年度滋賀県平和祈念館企画展示実施報告書』の作成

昨年度に引き続き、過年度の企画展示の内容を紹介する実施報告書を作成する取り組みを行った。今回は、令和4年度に実施した第31回企画展示『戦死者8,843名 フィリピンの戦場Ⅱーレイテ島・ミンダナオ島などの島々ー』、第32回企画展示『戦争と女学生ー戦時下の学校生活と進路ー』で展示した資料や展示パネルの内容を取りまとめた報告書を300冊印刷して、公立図書館等に配布した。

#### (4) エントランスバナー

##### ①『家族の肖像』

会期 令和5年(2023年)3月8日(水)～令和6年(2024年)3月10日(日)

会場 滋賀県平和祈念館エントランス

趣旨

戦争に巻き込まれた家族の写真をタペストリーに構成し、エントランスに展示した(平成29年度に第6回特別企画展示として展示したものを再度展示した。)



エントランスバナー  
「家族の肖像」

##### ②『故郷(ふるさと)』

会期 令和6年(2024年)3月13日(水)～令和6年度(継続)

会場 滋賀県平和祈念館エントランス

趣旨

滋賀は、美しい琵琶湖、人々の住む里、そしてこれらを取り巻く自然と人々が共存してきた。その結果、自然と人々の生活が一体となり、湖国の風景が形作られてきた。これらの風景は、戦争で故郷を離れなければならなかった多くの人々の心のよりどころとなり、厳しい時代のなかでも故郷や家族への想いは失われなかった。

本展示は、昭和のはじめに撮影された故郷の情景から、おだやかだった日常生活にも戦争の影響があったことを、改めて見直すきっかけづくりをねらいとして平成26年度に第3回特別企画展示として展示したものを再度展示した。

#### (5) 地域交流室展示

##### ①「滋賀今昔写真展」

会期 令和5年(2023年)4月1日(土)～10月29日(日)

概要

昭和初期(戦時頃)の滋賀県内各地の写真と現在の様子がわかる写真、計24点を展示した。





## ②「県内小中学校平和学習 子どもたちの足跡展」

期間 令和5年（2023年）4月1日（土）～10月29日（日）

概要

各校で行われた平和学習の成果物（模造紙にまとめたものや新聞、ポスターなど）を展示した。



## ③「破られた約束－太平洋戦争下の日系カナダ人－」

期間 令和5年（2023年）11月1日（水）～令和6年（2024年）2月25日（日）

概要

「Broken Promises 破られた約束」日本巡回展示実行委員会との共催により開催した。文字・写真パネルや実物資料など約40点を展示した。



## ④「県内小中学校平和学習 子どもたちの足跡展」

期間 令和6年（2024年）3月1日（金）～4月29日（月・祝）

概要

各校で行われた平和学習の成果物（模造紙にまとめたものや新聞、ポスターなど）を展示した。また、令和5年9月から12月に来館した学校の児童・生徒に書いてもらったピースメッセージ（28校1,472枚）を展示した。



## (6) 収蔵品展示

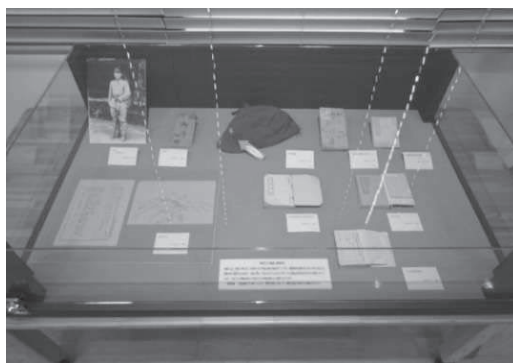
収蔵品展示は、県民の皆さまからの寄贈資料をもとに、毎回テーマを設けて展示するコーナーである。

### 「最近の寄贈品（令和4年度）」

展示期間 令和5年(2023年)3月29日(水)～令和6年(2024年)3月24日(日)

令和4年度には、50名の方から戦争に関する資料の寄贈を受けた。その中から整理作業が終了した特徴的な資料を選んで紹介した。

時代の流れとともに、使われていたご本人からの寄贈はほとんどなくなった。また、戦争を体験された方々の話も聞くことが少なくなってきた。身近におられた体験者、関連のものもなくなってきている。最近、古い家を壊され、いろいろなものの整理をされるのに、ご親族の思い出がある品々を「無下に処分するもの」との思いと、今一度ご親族の歩みを顧みられ、当館に寄贈をいただいた。展示を通して、身近なものに目を向け、過去の戦争を振り返っていただいた。



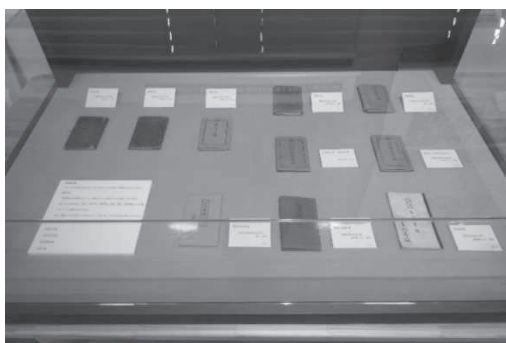


### 「収蔵品展示（令和5年度）」

展示期間 令和6年(2024年)3月27日(水)～令和6年度に継続

令和5年度には、48名の方から資料の寄贈を受けた。提供いただいた資料は、私たちに戦時のことを身近に語ってくれる。資料には、日誌・各種手帳・手紙・写真・服装・装備品・地図・雑誌・書類・看板などがあり、これらの資料から戦時の状況を知ることができる。

今回、それらのうちから特色のあるものを書かれた方の様子がわかる手帳や日誌、家族等とのやり取りで心情がくみ取れる手紙、最後の手紙で遺書となったものなど新たに寄贈していただいた資料の一部を展示した。今一度、身近な方の歩みに目を向けて、平和について考えていただいた。



## (7) 図書・映像コーナー

来館者自らがより深く、滋賀県民の戦争体験や平和の尊さについて学ぶため、戦争に関する概説書、児童書、絵本、コミックなどの図書資料を閲覧に供した。

なお、新型コロナウイルス感染症まん延防止のため閲覧を休止していた映像コーナーは、令和5年5月24日から運用を再開し、当館制作の動画をパソコンで自由に視聴いただいた。

## (8) 他館（市町）との連携展示

### 守山市

タイトル 『平和のよろこび展』

主催 守山市

会期 令和5年（2023年）8月2日（水）～8月9日（水）

会場 守山市民ホール 展示室

見学者数 282人

内容

守山市からの協力依頼を受け、当館が作成した第31回企画展示「フィリピンの戦場Ⅱ」、第32回企画展示「戦争と女学生」の展示パネルの一部などを、守山市主催の『平和のよろこび展』で展示した。

## (9) その他の展示

### 県庁・県立図書館でのパネル展示

滋賀県平和祈念館で開催した企画展示の内容をコンパクトにまとめたパネル展示を滋賀県庁新館・本館の3階渡り廊下展示スペース・本館1階県民サロンや滋賀県立図書館談話室において開催した。

#### ① パネル展示「戦争と女学生 ―戦時下の学校生活と進路―」

会 期	会 場
令和5年7月12日（水）～7月31日（月）	県庁3階渡り廊下
令和5年8月9日（水）～8月20日（日）	県立図書館談話室
令和5年8月31日（木）～9月14日（木）	県庁1階県民サロン

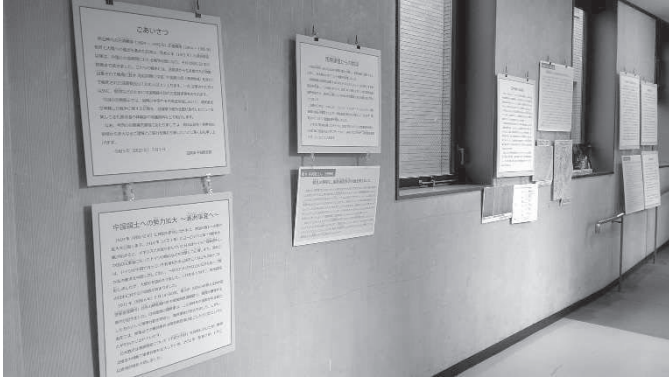
#### ② パネル展示「滋賀県民が見た中国の戦場」

会 期	会 場
令和6年1月9日（火）～1月31日（水）	県庁3階渡り廊下
令和6年2月5日（月）～2月27日（火）	県庁1階県民サロン

滋賀県立美術館ギャラリーで開催された平和祈念展示資料館（総務省委託）主催の「平和祈念展 in 滋賀」に平和祈念館の収蔵資料等を展示した。

会 期	会 場
令和5年9月12日（火）～9月18日（月・祝）	県立美術館ギャラリー





県庁での展示



平和祈念展  
in 滋賀

2023年  
9月12日(火)～18日(月)祝  
開場時間 9:30～17:00 (入場は16:30まで) 入場無料

Szige Museum of Art  
滋賀県立美術館 本ギャラリー

特別展示・・・・・・  
「滋賀県ゆかりの戦時資料」  
戦時中「滋賀県立美術館」が  
保存した戦時資料  
（滋賀県立美術館蔵）

絵画展示・・・・・・  
「戦時中滋賀県立美術館に  
満州開拓・シベリア狩習」  
L'ARTISTE

「平和祈念展 in 滋賀」(滋賀県立美術館)





## 2 資料収集保存事業

### (1) 戦争体験聞き取り調査

滋賀県平和祈念館では、戦時中滋賀県にお住まいだった方、あるいは滋賀県にご縁のあった方を対象に、調査員2名を配置して戦時中の体験について聞き取り調査を行っている。聞き取り調査は、開館以前の平成5年度から継続して実施しており、資料寄贈のみの場合も含めて2,400名以上の方の協力を得ている。

体験者の高齢化が進む中、戦闘体験などの第一線での体験談を聞き取る機会が少なくなり、国民学校や銃後と言われた国内での体験が増える傾向にある。

令和5年度の調査件数は67件あり、その内15名の方から聞き伝えや直接的な体験談の聞き取りを行った。

#### 戦中戦後を、中国大陸で過ごされた体験談

玉木 謙壽さん（草津市）

玉木謙壽さんのお父さんは、大阪で料理人をされていたが、その後、電力関係の仕事につき、ご夫婦で満洲吉林省へ渡り、豊満水力発電所に勤められた。昭和18年に謙壽さんが生まれた。産業の基幹ある電力を維持するために、技術者は発電所にとどまることが求められた。戦後も家族とともに現地で過ごされ、昭和28年に舞鶴港に帰って来られた。

##### <空襲の体験>

終戦の前、それから、そのあとも、飛行機が飛ぶね。爆撃機やね。終戦前の時も爆撃機が飛ぶんですけど。そうすると、空襲警報が鳴りますねん。やっぱ日本と同じように。サイレンが。ほんでその時に、おふくろと私と弟が、逃げないかんですな。いわゆる、ホウマンにおった2年。7歳8歳の時。それがね、500メートルぐらいあったかな、家から。コーリャン畑。日本みたいに田んぼじゃないんです。稲じゃない。赤い穂のね。これがずーっと、コーリャン畑の向こうに、山の裾に防空壕があったんですけども、そこへね、おふくろと私と弟と、3人が、空襲警報鳴ったら、走って逃げないかんですよ。これはしんどかったですな。これは覚えてます。さっき言ったホウマンには、10世帯ぐらいの所帯ありましたが、そこのどなたの家だったかちょっと覚えてませんが、焼夷弾が落ちたんですって。あの明かりバーッと。その焼夷弾が落ちて、その家、火事になったというのをね、聞いた記憶がありますわ。だからやっぱ怖いから、空襲警報鳴ったら逃げるといふことやったと思いますね。

みんな逃げて来るとこでしたな。一斉にね、私らも走ってる、向こうも走ってる。あちこち走ってますね。子ども、ね、まだ今言う7歳8歳ですから、別にね、しんどいもくそもない、一生懸命走りましたけどね。そやけど、弟はその時まだね、2歳とか3歳ですからね。おふくろの手引っ張ってね、逃げましたね。

## (2) 収蔵資料の整理・保存

滋賀県平和祈念館では、県民の戦争体験にまつわる資料や戦時の滋賀県に関連する資料を5万点以上所蔵し、その整理、保管を行っている。令和5年度は、新たに1,432点の資料を収集した。収集した資料のほとんどは、県民の皆様が所蔵しておられたものである。

次世代につなげて活かしていくために、資料を大切に整理・保管・活用している。

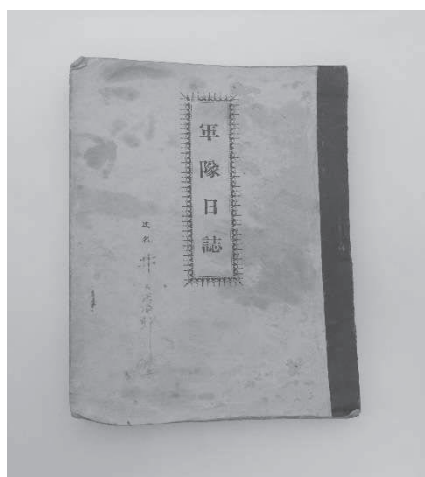
寄贈いただいた資料には、戦時中の軍隊や日常生活における様々なものがあり、日誌・雑誌・看板など、資料から当時の状況を把握し、基本展示・企画展示として公開展示している。

また、学習教材として提供し、実際に実物に触れていただいて、当時を感じることができるようになっている。

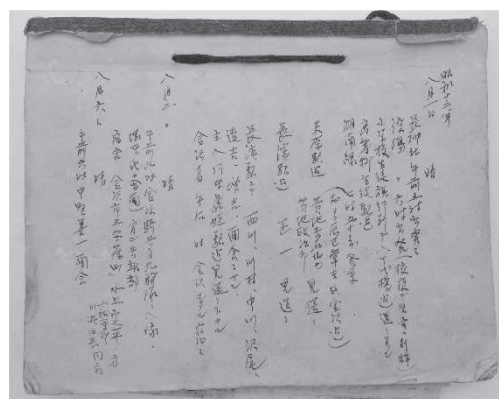
### ～ 令和5年度受け入れ資料の事例 ～

#### 日誌

これらは、軍隊での様子や出征時の状況を書きとどめたものである。当時、まず地元の神社に出向き、役場から旗行列に送られ、駅で汽車に乗り、所属する部隊へと入隊された。以後は日々の具体的な営みが、記録されている。当時の状況を見ることができる。



軍隊日誌  
個人提供



日誌（ノート帳）  
山田善造さん 提供

## 雑誌

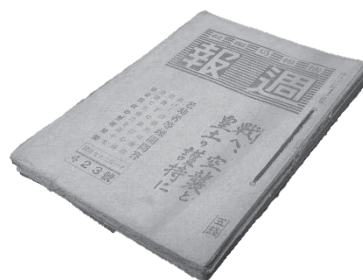
写真などが掲載されていて、当時の状況が目で見ることができ、報道のあり方が具体的に見て取れる。



### 「写真週報」

情報局編輯 印刷局印刷発行  
昭和17年7月30日～

中西正人さん 提供



### 「週報」

情報局編輯 発行者印刷局  
昭和19年～昭和20年

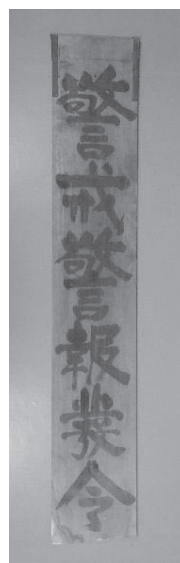
中西正人さん 提供

## 看板

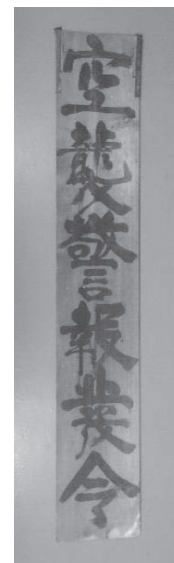
### 「警戒警報発令・空襲警報発令」

警戒・空襲警報を知らせる木製の看板である。滋賀県の北部で実施された演習か、米原駅で使われたものか、明確な記録は残っていない。もともと警戒警報のみだが、空襲警報にも使われるようになり、裏側に書き足そうとしたが、短かったので、上の部分に板を継ぎ足したと伝わっている。

個人提供



表



裏

### 3 普及啓発事業

#### (1) 平和教養講座

##### ●事業概要

県民の平和意識の醸成を目的に第三期計画を踏まえ、多角的な視点から平和について考えるための講演と企画展に関連する講演を館内外の講師により、原則、毎月第3土曜日に実施した。(ただし、8月、3月は除く。)

##### ●令和5年度開催実績

回	月日	曜日	テーマ	講師等氏名	講師所属等	参加者数
1	4月15日	土	戦争、こどもにどう話す	村本 邦子	立命館大学総合心理学部教授	18
2	5月20日	土	戦争の向こうにー食文化における平和的 地方創生 バスク 近江を比較するー	太田 達	公益財団法人有斐斎弘道館代表理事	22
3	6月17日	土	戦争と女学生	濱 貴子	富山県立大学准教授	21
4	7月15日	土	戦争と食と女性	宇田川 妙子	国立民族学博物館教授	25
5	9月16日	土	留学生たちの見た『滋賀県民が見た中国の戦場』展	劉 征宇 李 悦鑫 雍 湛 潘 岩冰 魯 雪娜 許 潔	留学生	39
6	10月21日	土	湖南省と毛沢東	韓 敏	国立民族学博物館教授	23
7	11月18日	土	バンクーバー日本町の発展と滋賀県移民	和泉 真澄	同志社大学グローバル地域文化学部教授	49
				松宮 哲	資料提供者	
8	12月16日	土	カナダ移民の歴史継承と次世代育成	その他	和歌山県日高郡美浜町三尾 NPO法人日ノ岬・アメリカ村・カナダミュージアム館長・語り部部会 語り部ジュニア 米原市磯郷土史クラブ	38
				河上 幸子	京都外国語大学国際貢献学部教授	
				スタン カーク	甲南大学准教授 「カナダ移民に関する研究と社会貢献活動：滋賀と和歌山での経験から」	
9	1月27日	土	カナダにおける日系人の戦時強制収容	中村 優香	京都外国語大学生	39
				オウ カンシン	「そよ風プロジェクト」	
10	2月17日	土	忘れられたカナダ日本人移民史ーロジャーズ峠に散った鉄道契約移民ー	河原 典史	立命館大学文学部教授	37
合計						311

## (2) 開館 12 周年記念事業

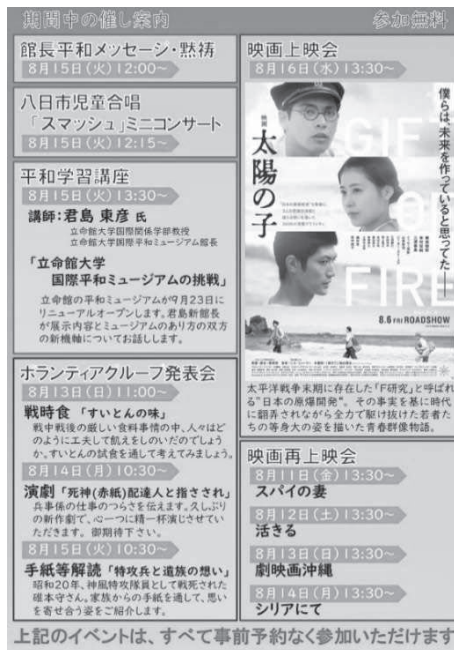
- 開催期間：令和 6 年（2024 年）3 月 20 日（水・祝）～3 月 24 日（日）
- 期間中来館者数：約 500 名
- 事業概要：例年、平和祈念館が開館した 3 月 17 日前後の休日を中心に周年記念事業として開催。今年度は、主に次の内容を行った。
  - ①大人のための歴史教室「アジア太平洋戦争の終わらせ方」
    - ・講師：原田敬一氏（佛教大学歴史学部名誉教授・滋賀県平和祈念館展示等監修委員）
    - ・参加人数 45 名
  - ②ボランティアグループによる活動発表会
    - ・演劇：「死神配達人と指さされ」 参加人数 55 名
    - ・手紙等解説：「特攻兵と遺族の想い」 参加人数 62 名
    - ・戦時食：「一汁一菜」 参加人数 53 名
    - ・開館 12 周年記念品（ミニ大凧）を作製し、来館者に配布した。
  - ③映画再上映会  
8 月から 2 月に上映した作品の再上映会を行った。  
参加人数 延べ約 150 名

## (3) 平和を祈念する日事業

- 開催期間：令和 5 年（2023 年）8 月 11 日（金）～8 月 16 日（水）
- 期間中来館者：約 650 名
- 事業概要
  - 「平和を祈念する日事業 平和祈念 week2023 戦後 78 年 未来へとつづく平和の燈」として、平和学習講座、児童合唱団やボランティアグループ発表会、映画上映会などを開催した。
  - 6 日間を通して、日替わりで当館作成の戦争証言映像（戦争証言 2014～2022）を 1 階基本展示横スクリーンにて上映し、2 階研修室では映画上映会を行った。11 日から 13 日は再上映会、16 日には新作映画として、戦争末期の日本で進められた原爆開発を扱った「太陽の子」を上映した。
  - 平和学習講座は、立命館大学国際関係学部教授で立命館大学国際平和ミュージアム館長の君島東彦氏から、「立命館大学国際平和ミュージアムの挑戦」と題して講演いただく予定だったが、台風のため中止となった。
  - また、ボランティアグループ発表会についても、13 日の戦時食グループによる発表は実施できたが、14 日の演劇グループと 15 日の手紙等解説グループからの発表は台風のため中止となった。
  - 期間中には平和学習を行った小学生が平和への願いを込めて作ったあんどんを 1 階ロビーに並べ、ライトアップした。なお、今回のイベントから、電話による事



前予約をやめ、希望者全員に参加していただいた。



イベントチラシ



戦時食ボランティアグループによる発表



あんどん展示風景

#### (4) フィールドワーク(「岩脇蒸気機関車避難壕」現地見学会)

- 開催日時: 令和5年(2023年)10月7日(土) 10:00～11:30
- 会場: 米原市 岩脇公民館周辺
- 参加者数: 19名
- 事業概要: 藤本伝一氏(いをぎ町づくり委員会委員長)を講師に招き、現地見学会を開催した。





●事業内容

①「育てて食べよう戦時食①」（6月3日）

サツマイモの苗植えを計画していたが、畑の状態が悪く苗植えは実施せずに、愛東マーガレットステーションの職員の方からサツマイモの植え方についての説明を聞いた。戦時食ボランティアの方から戦時中の食糧事情について話を聞き、戦時のおやつを試食をした。野草探しゲームや平和のあんどんづくりを実施した。



②「戦跡めぐり in 八日市」（7月22日）

東近江市に残る戦争遺跡「八日市飛行場跡」「冲原神社」「布引掩体群」を、東近江市文化スポーツ部博物館構想推進課課長の嶋田直人さんの話を聞きながら見学した。



③「平和学習講座【ミニバックヤードツアー、缶バッジづくりなど】」（7月29日）

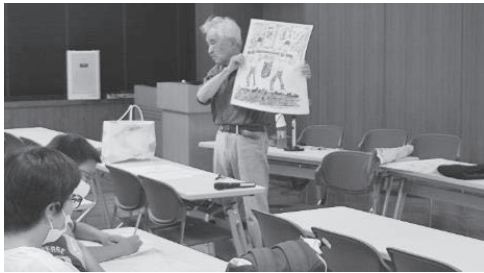
館内見学やバックヤードツアーをした後、ワークシートに取り組みながら館内の展示見学をした。最後にオリジナル缶バッジづくりも実施した。



④「教えて戦争体験 I 【戦時の国民学校】」（8月5日）

戦時中、国民学校に通っておられた中島伸男さんに、当時のくらしや学校の様子についてお話ししていただいた。最後には、質疑応答の時間も設けた。





⑤「教えて戦争体験Ⅱ【長崎に落とされた原爆】」（8月9日）

長崎原爆の被爆者である大村信代さん（草津市在住）から、戦時のくらしや原爆投下後の様子などを聞いた。



⑥「絵本・アニメで学ぶ戦争」（8月19日）

図書館司書の方による絵本の読み語りとブックトーク、アニメ「焼け跡のお菓子の木」の視聴を通して、戦争と平和について考えた。



(7) 平和を願う子どもピースメッセージ絵画コンクール



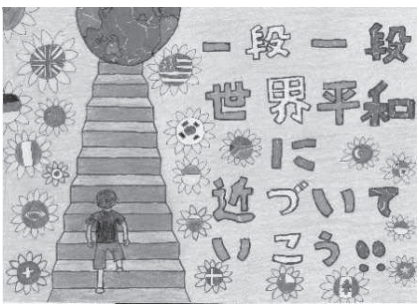

- 期間：令和5年(2023年)10月28日(土)～令和6年(2024年)1月31日(水)
- 表彰式：令和5年(2023年)10月28日(土)
- 事業概要

次世代を担う子どもたちが、戦争と平和をテーマにした絵を描くことにより、戦争の悲惨さや平和の尊さを考えるきっかけとするとともに、子どもたちが描く絵画を通して、広く県民に平和への想いを伝えることを目的として実施した。今回、県内の小学校5年生から中学生を対象に作品を募集したところ、県内小・中学校40校から842作品の応募があった（前年度は41校から468作品）。

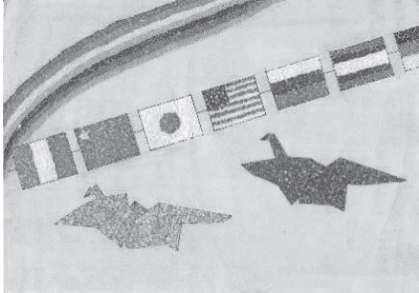

なお、昨年度から滋賀県知事賞となり、小中学校別に3部門6作品を選定した。

また、参加者全員に昨年度同様、参加賞（クリアファイル）を贈った。

【入賞者】

滋賀県知事賞	・学校名（学年）・氏名 選定理由
<p>ピース部門（小学校）</p> 	<p>湖南省立下田小学校（6年） 又吉 クリスチアン</p> <p>さまざまな国の言葉を使い、「平和」という花を表しながら、世界平和を願う気持ちがよくあらわれた作品です。</p>
<p>ピース部門（中学校）</p> 	<p>長浜市立南中学校（2年） 寺脇 天人</p> <p>過去の惨劇を「忘れない」という思いと、戦後の講和を「忘れない」という2つの思いがよくあらわされています。 祈念館の考えを語り継ぐ、素晴らしい作品です。</p>
<p>ハート部門（小学校）</p> 	<p>甲賀市立甲南第三小学校（6年） 山敷 碧葉</p> <p>「一段ずつ世界平和に近づいていこう」という思いが、貼り絵の文字と階段を力強く登る絵から伝わってきました。絵全体に咲く国旗の花が画面を華やかにし、明るい世界を感じます。貼り絵の文字とぬりこまれた色鉛筆がぴったり合い素敵な仕上がりになっています。</p>
<p>ハート部門（中学校）</p> 	<p>東近江市立聖徳中学校（2年） 左近 帆乃花</p> <p>大きなピンクのハートと赤ちゃんの笑顔から平和で優しい世の中にしたいという思いが伝わってきます。ハート・虹・赤ちゃん・つなぎ合う手のつながりを考えながら一つの画面にうまく構成され、明るい色で丁寧に彩色されている点も優れています。</p>



<p>オリーブ部門（小学校）</p> 	<p>栗東市立葉山東小学校（6年） 池邊 寧々</p> <p>たいへん細かく丁寧な貼り絵です。特に折り鶴は、それぞれさまざまな色が使われており、シンプルな画面構成ながら、メリハリの効いた強さのある作品に仕上がっています。</p>
<p>オリーブ部門（中学校）</p> 	<p>滋賀県立水口東中学校（3年） 野間 朱莉</p> <p>色彩を含めた全体の構成に秀でています。重ねぬりでの色の深みを出したり、盛り上げてハトの羽根の重なりを表現し、それがハトの存在感の強さにつながっています。</p> <p>パズルのピースの遠近感も正確で、とても丁寧に仕上げられており、メッセージの強さが伝わります。</p>

※各部門について

ピース部門・・・平和祈念館の理念と合致していることや祈念館の事業を推進するうえで効果的な作品

ハート部門・・・制作者の平和への思いを画面に意欲的に工夫し、効果的に表現している作品

オリーブ部門・・・平和への思いを自分らしい発想や構想で表現し、線画や色使いの技能に優れた作品

【佳作】

小学校

湖南省立下田小学校 6年 谷 玲央馬

大津市立長等小学校 5年 上野 結月

湖南省立下田小学校 6年 星野 結衣

中学校

東近江市立聖徳中学校 3年 今宿 晴菜

東近江市立湖東中学校 3年 今吉 花愛

近江八幡市立安土中学校 1年 坪田 凜叶



作品展示

(8) 平和塾・つなぎ人(びと)

●開催日時 4・8月を除く毎月第2土曜日 14時から15時30分まで

●参加者数 延べ31名(年間10回)

●事業概要

戦争体験者の方々の高齢化がすすむ中、つなぎ人(語り部)の育成は開館当初から当館の重要な役割と位置づけられており、「平和塾・つなぎ人(びと)」として開催している。

## 4 平和学習支援事業

### (1) 来館学習

来館学校数（実績）

※カッコ内は前年度の実績

	総数	小学校	中学校	高等学校	大学・短大
学校数	68校 (82校)	54校 (65校)	9校 (14校)	4校 (2校)	1校 (1校)
児童・生徒数	3,796人 (4,395人)	2,885人 (3,515人)	778人 (819人)	109人 (35人)	24人 (26人)

#### 主な学習方法

- ・ 展示見学

学校が作成するワークシートや当館職員が作成した見学シートを用いた調べ学習

- ・ 館職員による平和学習（戦争証言映像視聴を含む）
- ・ 平和の灯前での平和セレモニーや平和集会



来館学習（展示見学・平和学習）と寄贈された折鶴など

## (2) 出前授業

### 出前授業実施校（実績）

※カッコ内は前年度の実績

	総数	小学校	中学校	高等学校	大学・短大
学校数	115 校 (122 校)	85 校 (82 校)	21 校 (28 校)	6 校 (10 校)	3 校 (2 校)
児童・生徒数	9,649 人 (10,614 人)	6,369 人 (5,883 人)	2,092 人 (2,137 人)	1,019 人 (2,339 人)	169 人 (255 人)

### 主な学習方法

- ・実物や写真・動画の提示
- ・体験談の提示
- ・館職員による平和学習（戦争証言映像視聴を含む）



出前授業（県内中学校にて）

コロナ禍も次第に落ち着き、日常の生活が戻ったことで、当館の利用にも変化が見られた。たとえば、小中学校の来館校数が減ったのは、コロナ禍で自粛していた行き先を県外とする修学旅行等が再開されるようになったことが影響しているものと考えられる。一方、総合的な学習の時間の平和学習や社会科の歴史学習の一環として利用される県内小学校に対する出前学習の利用校数は微増となった。

今後については、さらに来館校数の減少が心配されるため、児童生徒の興味や関心のある教材を充実させることで、来館校数の増加を図る必要がある。

滋賀県における戦時の出来事から平和学習を十分に行えることをアピールしつつ、映像資料を活用する等の方法により、一層、魅力ある平和学習の内容となるよう努めたい。



### (3) 地域への平和学習支援・教職員等への研修

区分	実施件数（人数）※【 】内は前年度の実績
来館学習	57件（1,487人）【41件（1,026人）】
出前講座	41件（1,513人）【27件（1,173人）】
教職員研修	5件（153人）【5件（172人）】

#### 主な内容

- ・「滋賀への空襲」
- ・「滋賀県各地にまつわる戦争の記録」
- ・「戦争と滋賀」
- ・地域に係る証言映像の視聴

滋賀県民の皆様からの来館や出前講座の依頼は、今年度大幅に増加した。コロナ禍での自粛が数年ぶりになくなったことが一番の原因であるが、ウクライナや中東での戦争による関心の高まりも一因であると考えます。

今後においては、地域の題材や映像コンテンツを使い、自ら学びながら後世に繋いでいける平和学習講座を続けたい。



出前講座（地域の人権研修にて）

### (4) 資料の貸出による平和学習支援

滋賀県平和祈念館では、学校や地域への平和学習を支援するために、実際に手にとって触れるハンズオン資料やパネル、戦争体験者証言映像の貸出を行っている。

学校への貸出の傾向としては、7月から11月までの期間は、視聴覚資料とハンズオン資料の貸出が多かった。地域への貸出としては、夏期にパネルの貸出数が多かった。

令和5年度は、新たに「滋賀に残る戦争遺跡 ー湖南編ー」、「戦争体験者証言映像2024」を制作し、令和6年度から貸出を始める。

#### ○資料貸出しの実績

- ①学校への貸出 9校（小学校9校）
- ②地域への貸出 32件

## ○貸出資料の種類

### ①ハンズオン資料

千人針、臨時召集令状（複製）、出征たすき、防空頭巾、配給切符、慰問袋、鉄かぶと、ゲートル、国防婦人会たすき、いなご採り袋、雑誌「週刊少国民」（ラミネート版）、カルタ「戦ふ日本カルタ」（ラミネート版）、双六「大東亜共栄圏めぐり」（ラミネート版）

### ②パネル

Aセット（16枚組）3セット

Bセット（20枚組）3セット

Cセット【滋賀で学ぶ戦争の記録】（16枚組）3セット

写真・ポスター類（64枚）

### ③小学校国語科読み物教材

「一つの花」対応セット

### ④視聴覚資料

- ・滋賀県民の戦争体験証言ビデオ  
「記憶の湖（うみ）」17本
- ・小中学校向けアニメ画入りの戦争体験証言映像  
「大阪から来た女の子」、「滋賀県満州報国農場の若者たち」
- ・2014、2015、2016、2017、2018、2019、2020、2022、2023年度制作の戦争体験者証言映像（DVD版・BD版）
- ・滋賀に残る戦争遺跡映像（湖北・湖西編、湖南編）
- ・その他、戦争や平和に関するDVD

## （5）戦争体験者証言映像の制作

戦争体験者の体験談を記録・保存するとともに、広く県民が戦争の悲惨さや平和の大切さを学ぶための映像教材として、戦争体験者証言映像の制作を企画し、委託事業によって制作した。平成26年度から事業を開始し、今回が9作目である。

4名の体験者に出演いただき、以下の映像1から4の4本の映像を制作して『戦争証言2023』としてまとめた。この映像は希望者に対してDVD、Blue-rayの貸出を行うほか、当館ホームページを通じてインターネット上でも閲覧可能としている。

### 『戦争体験者証言映像 戦争証言2023』DVD・Blue-ray

- ・映像1 「満州から引き揚げた母娘の長い戦争」 杉山 康さん（17分）
- ・映像2 「滋賀海軍航空隊での予科練生活」 倉内 昭夫さん（13分）
- ・映像3 「軍国主義と共に歩んだ少年」 中島 伸男さん（16分）
- ・映像4 「目の見えない少年が経験した戦争」 駒井 良平さん（15分）



## 5 ボランティア活動支援事業

当館では、開館に先立って平成23年度より当館の活動に参加いただけるボランティアの募集を開始した。令和5年度末時点のボランティア登録者数は50名で、20代から80代の幅広い世代の方に登録いただいている。

具体的な活動内容としては、来館者案内活動、戦時食体験活動、手紙等解読活動、演劇活動、情報紙「平和の灯」の制作やInstagramの発信を行う活動、『写真週報』を読み解く活動などが行われている。また、開館周年記念事業などの館事業への協力も継続して行われている。

ボランティアの様々な経験に基づいた知識や技術、さらにはその主体的な活動を通して、当館の活動の幅は確実に広がり、多様なものとなっている。今後ともボランティア活動を通して、利用者と積極的に交流していただき、さらには『利用者と館をつなぐかけ橋』の役割を担っていただくことを期待する。また、平和祈念館ではそのためのサポートを続けていく。

### ボランティア活動の紹介

来館者案内活動グループ	館内での来館者との交流や案内をします。
戦時食グループ	食べるものがなかった戦争末期から戦後の生活苦を感じ、「食」の大切さについて考えます。
演劇グループ	平和や戦争をテーマにした演劇を創作し、上演する活動をします。
手紙等解読グループ	戦争中の手紙や日記などを、読みやすいように解読する作業をします。
聞き取りグループ	戦争体験者の方からお話を聞き、記録する活動をします。
PR活動グループ	情報紙「平和の灯」の制作やInstagramによる発信を行っています。
大凧づくりグループ	東近江大凧まつりに向けて、ミニ大凧（2畳）をつくり、平和への願いや当館の活動をPRします。
館イベント補助グループ	館が行うイベントの補助を行う活動をします。
語り部・語り継ぎ部グループ	自らの体験や戦争体験者の方々から聞いた話をもとに、戦争体験を語り継いでいく活動をします。
『写真週報』読み解きグループ	戦時中に発行されていた『写真週報』を読み解く活動をします。



## 6 DX（デジタルトランスフォーメーション）推進事業

### (1) データベースの公開

昨年度、いつでも、どこでも、だれでも当館の収集した戦争体験談や収蔵資料を調べることができる「バーチャル語り部・収蔵資料データベース」をホームページ上に開設した。過去の企画展示で紹介した体験談と、関連する収蔵資料、図解等を検索、閲覧することができる。

令和5年度は、あらたに、旧陸軍八日市飛行場に関する体験談や収蔵資料など約200件を公開した。継続してデータベースの公開作業を続ける。

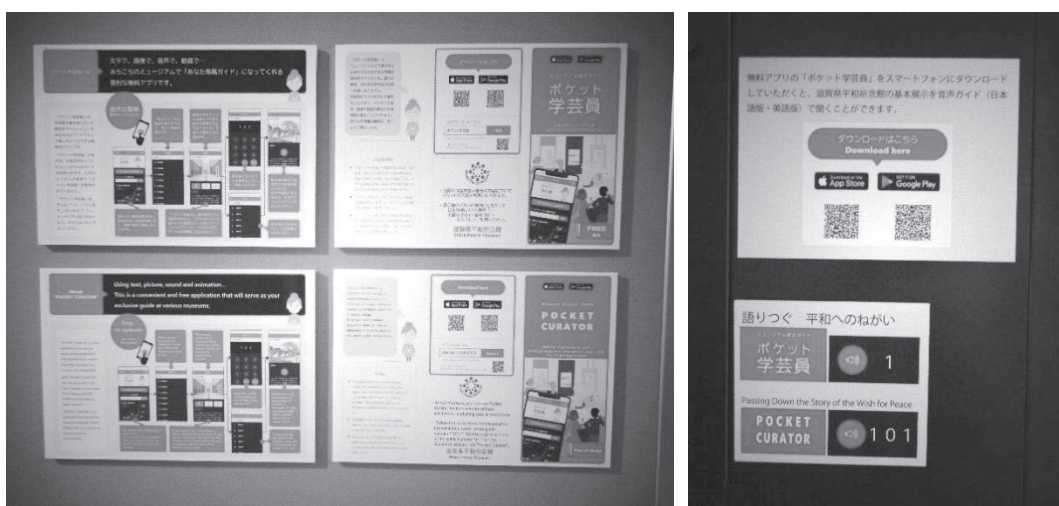
「滋賀県平和祈念館 バーチャル語り部・収蔵資料データベース」

URL:<https://jmapps.ne.jp/sgheiwa/>



### (2) 展示ガイド導入アプリ「ポケット学芸員」の導入

当館では、博物館の展示解説などを視聴できる無料ガイドアプリ「ポケット学芸員」(開発元:早稲田システム開発株式会社)を令和6年3月から導入した。このアプリでは、来館者が個人のスマートフォンにアプリをインストールして、展示解説のガイド番号を入力すれば、日本語と英語の2か国語で、滋賀県平和祈念館の基本展示などの解説を音声・文字・画像で視聴できるものである。



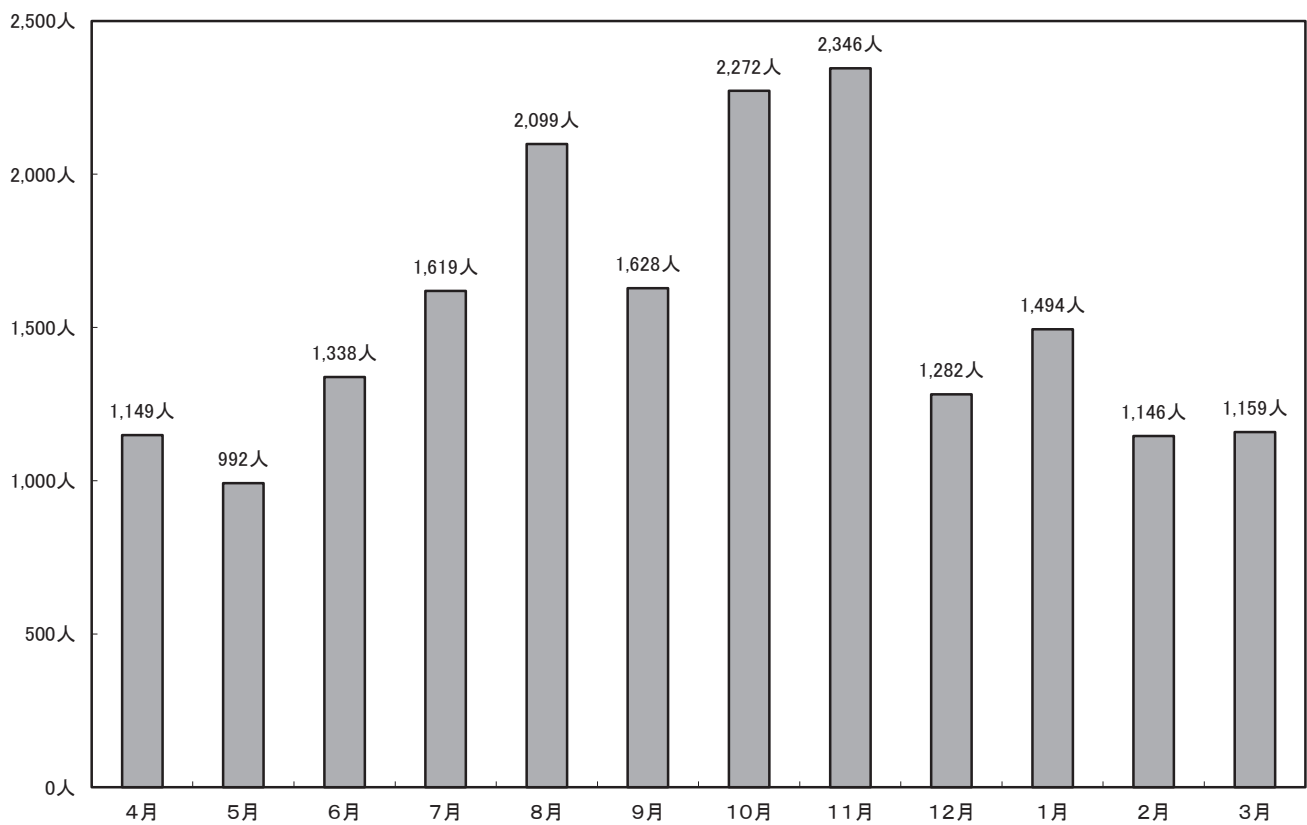
「ポケット学芸員」の案内パネル

## Ⅱ 資料

### 1 利用状況

#### (1) 月別来館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	開館からの 累計
開館日数	22日	21日	19日	26日	29日	23日	22日	22日	13日	20日	22日	23日	262日	3,097日
来館者数	1,149人	992人	1,338人	1,619人	2,099人	1,628人	2,272人	2,346人	1,282人	1,494人	1,146人	1,159人	18,524人	249,013人
1日あたりの 平均来館者数	52人	47人	70人	62人	72人	71人	103人	107人	99人	75人	52人	50人	71人	80人



## (2) 来館学習・出前授業実施校

来館

(単位:人)

年	月	日	学校名	人数
令和5	4月	27	立命館守山中学校	175
		28	滋賀県立水口東中学校	90
	5月	25	大阪府島本町立第二中学校	130
		26	滋賀県立三雲養護学校石部分教室	35
	6月	14	草津市立玉川小学校	86
		16	東近江市立愛東北小学校・愛東南小学校	37
		20	東近江市立山上小学校・市原小学校	39
		22	奈良県桜井市立朝倉小学校	32
		23	東近江市立八日市南小学校	91
		7月	3	東近江市立愛東中学校
		6	東近江市立愛東中学校	27
	9月	21	大津市立唐崎小学校	126
		28	竜王町立竜王小学校	67
		29	岐阜県瑞穂市立巢南中学校	185
	10月	4	京都府立舞鶴支援学校高等部	38
		6	東近江市立布引小学校	52
		11	東近江市立御園小学校	67
		18	奈良県桜井市立安倍小学校	71
		18	東近江市立愛東中学校	30
		19	奈良県橿原市立香久山小学校	19
		25	大津市立比叡平小学校	14
		26	大津市立小野小学校	18
		26	大津市立伊香立小学校	32
		26	大津市立田上小学校	12
		27	大津市立日吉台小学校	18
		27	東近江市立湖東第二小学校	25
		11月	1	奈良県桜井市立三輪小学校
	2		東近江市立箕作小学校	86
	7		野洲市立中主小学校	33
	9		大津市立逢坂小学校	85
	10		東近江市立愛東北小学校・愛東南小学校	37
	10		米原市立河南中学校	23
	16		大津市立雄琴小学校	63
	16		東近江市立湖東第三小学校	32
	21		奈良県香芝市立志都美小学校	49
	22		東近江市立五個荘小学校	114
	23		大津市立田上小学校	73
	24		東近江市立能登川西小学校	28
	28		野洲市立中主小学校	34
	29		草津市立笠縫小学校	116
	30		滋賀県立信楽学園	20
	30		東近江市立蒲生東小学校	18
12月	1	東近江市立蒲生北小学校	65	
	4	近江八幡市立金田小学校	152	
	6	野洲市立中主小学校	33	
	8	東近江市立市原小学校・山上小学校	39	
	8	豊郷町立豊日中学校	88	
令和6	1月	11	東近江市立能登川南小学校	127
		12	滋賀県立農業大学校	24
		16	栗東市立治田小学校	115
		17	東近江市立蒲生西小学校	60
		18	東近江市立八日市北小学校	65
		18	豊郷町立豊郷小学校	37

来館

(単位:人)

年	月	日	学校名	人数		
令和6	1月	24	東近江市立八日市西小学校	43		
		24	愛荘町立愛知川東小学校	26		
		26	東近江市立能登川東小学校	78		
		26	愛荘町立愛知川東小学校	30		
		29	湖南省立岩根小学校	37		
		31	東近江市立湖東第一小学校	29		
	2月	1	竜王町立竜王西小学校	48		
		2	東近江市立玉緒小学校	41		
		7	湖南省立水戸小学校	60		
		13	愛荘町立秦荘東小学校	50		
		13	湖南省立三雲小学校	70		
		15	愛荘町立愛知川東小学校	27		
		21	高島市立マキノ東小学校	19		
		22	滋賀県立三雲養護学校石部分教室	16		
		26	東近江市立能登川北小学校	10		
		68校				3,796 人



## 出前

(単位:人)

年	月	日	学校名	人数	
令和5	4月	20	東近江市立朝桜中学校	80	
		21	東近江市立朝桜中学校	80	
	5月	8	甲賀市立佐山小学校	20	
		17	滋賀大学教育学部	97	
		18	甲賀市立朝宮小学校	3	
	6月	1	東近江市立船岡中学校	56	
		9	東近江市立永源寺中学校	46	
		19	滋賀大学附属小学校	102	
		21	草津市立志津小学校	157	
		30	草津市立山田小学校	56	
		7月	5	草津市立矢倉小学校	110
	6		近江八幡市立桐原小学校	84	
	11		守山市立速野小学校	157	
	12		栗東市立大宝東小学校	61	
	12		びわこ学院大学教育福祉学部	55	
	13		湖南市立三雲東小学校	60	
	26		八日市南子どもの家	99	
	28		八日市南子どもの家	41	
	9月		4	東近江市立五個荘小学校	114
			4	甲賀市立甲南中学校	35
		5	甲賀市立甲南中学校	75	
		6	甲賀市立甲南中学校	78	
		7	草津市立老上小学校	120	
		8	大津市立瀬田東小学校	143	
		12	近江八幡市立沖島小学校	3	
		12	滋賀県立守山中学校	83	
		14	大津市立仰木の里東小学校	112	
		15	守山市立小津小学校	66	
		19	近江八幡市立八幡小学校	133	
		19	華頂看護専門学校	17	
		20	大津市立青山小学校	172	
		22	大津市立真野北小学校	28	
		27	滋賀県立栗東高等学校	191	
		27	湖南市立木戸小学校	42	
		29	大津市立瀬田南小学校	132	
	10月	3	大津市立真野小学校	75	
		4	甲良町立甲良東小学校	36	
		5	守山市立吉身小学校	122	
		13	高島市立青柳小学校	25	
		13	米原市立河南中学校	23	
		17	草津市立志津南小学校	123	
		20	大津市立晴嵐小学校	141	
		23	栗東市立治田東小学校	90	
		24	彦根市立城南小学校	119	
		24	彦根市立稲枝東小学校	58	
		24	滋賀大学附属中学校	115	
		25	滋賀県立信楽高等学校	53	
		27	近江八幡市立馬淵小学校	21	
		30	大津市立南郷小学校	117	
		31	高島市立高島小学校	37	
11月	2	野洲市立野洲小学校	130		
	7	大津市立中央小学校	56		
	7	愛荘町立愛知中学校	180		
	8	滋賀県立守山北高等学校	150		
	8	高島市立マキノ西小学校	14		
	9	栗東市立葉山東小学校	90		
	10	甲賀市立水口小学校	88		
	13	高島市立新旭南小学校	45		

出前

(単位:人)

年	月	日	学校名	人数	
令和5	11月	14	大津市立石山小学校	80	
		14	近江八幡市立北里小学校	56	
		15	野洲市立北野小学校	106	
		17	湖南市立菩提寺北小学校	47	
		20	大津市立堅田小学校	152	
		20	大津市立坂本小学校	80	
		21	高島市立安曇小学校	50	
		24	近江八幡市立老蘇小学校	28	
		27	草津市立草津第二小学校	109	
		27	守山市立立入ヶ丘小学校	86	
		28	草津市立笠縫東小学校	124	
		30	草津市立洪川小学校	94	
		12月	1	野洲市立篠原小学校	28
	4		豊郷町立豊日中学校	88	
	5		大津市立藤尾小学校	21	
	7		彦根市立城陽小学校	36	
	19		大津市立瀬田小学校	209	
	令和6		1月	12	愛荘町立愛知川小学校
		15		長浜市立古保利小学校	15
16		大津市立平野小学校		171	
19		竜王町立竜王西小学校		48	
22		大津市立和邇小学校		80	
22		大津市立仰木の里小学校		38	
23		甲賀市立油日小学校		27	
26		甲賀市立甲南第二小学校		17	
26		彦根市立南中学校		200	
29		長浜市立びわ南小学校		42	
30		長浜市立長浜小学校		150	
30		米原市立息長小学校		32	
31		滋賀県立守山養護学校小学部		5	
2月		1		近江八幡市立岡山小学校	107
		2	彦根市立城北小学校	69	
		5	長浜市立田根小学校	29	
		5	彦根市立稲枝北小学校	12	
		6	大津市立富士見小学校	73	
		6	彦根市立平田小学校	48	
		8	湖南市立石部小学校	61	
		8	湖南市立石部南小学校	45	
		9	豊郷町立日栄小学校	43	
		9	彦根市立鳥居本小学校	19	
		14	野洲市立祇王小学校	82	
		14	日野町立日野中学校	180	
		15	大津市立小松小学校	27	
		15	長浜市立永原小学校	21	
		15	近江八幡市立八幡中学校	120	
		16	甲賀市立希望ヶ丘小学校	81	
		16	日野町立日野小学校	88	
16		東近江市立玉園中学校	96		
19	彦根市立旭森小学校	136			
19	近江八幡市立八幡中学校	100			
27	近江八幡市立安土中学校	110			
28	甲賀市立甲賀中学校	80			
3月	1	米原市立双葉中学校	111		
	4	滋賀県立八幡商業高等学校	240		
	7	守山市立明富中学校	156		
	11	滋賀県立東大津高等学校	355		
	15	滋賀県立彦根工業高等学校定時制	30		
115校				9,649人	

## 2 広報活動

報道記録(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

年	月	日	内 容	報道機関
令和5	4	1	令和5年度 ご挨拶	滋賀報知新聞
		13	学徒動員など 戦争証言	中日新聞
		16	大人のための歴史講座など 県平和祈念館の11周年記念ウィーク	おうみ通信
	5	7	バーチャル語り部「モノと記憶」を次世代へつなぐデータベースの公開	滋賀報知新聞
		14	戦争の記憶 動画で	毎日新聞
		21	女学生 耐え難き惨禍	毎日新聞
		22	戦争を子どもにどう話す 県平和祈念館で平和教養講座	おうみ通信
	6	2	戦争記憶、デジタル化 滋賀県平和祈念館が3年計画で	滋賀報知新聞
		4	2023年度子ども向け体験型平和学習「平和の学校あかり」を開校します	滋賀報知新聞
		4	戦争中の食糧事情学ぶ 食べられる野草探しも	中日新聞
		11	貸出用映像教材ソフト製作	滋賀報知新聞
		21	戦争と女学生を講演	滋賀報知新聞
	7	5	滋賀県民が見た中国の戦場 従軍兵士や女性の体験談、遺品	滋賀報知新聞
		14	第33回企画展示 滋賀県民が見た中国の戦場	滋賀報知新聞
		16	戦時中の食生活学ぶ	湖国とりびゆめ
		16	中国との戦争 パネルや史料で	中日新聞
		24	戦争の悲惨さ知って 元兵士の証言と資料並ぶ	京都新聞
		31	支局長からの手紙 戦地からの言葉	毎日新聞
	8	1	近江の博物館巡り No.8 滋賀県平和祈念館	びわこ新聞
		1	この夏、考えてみませんか、平和のこと。	滋賀プラス1 夏号
		2	八日市の戦跡 親子ら巡る	読売新聞
		6	平和を祈念する日事業 平和祈念week2023	滋賀報知新聞
		8	11～16日、平和考える催し	滋賀報知新聞
		13	滋賀県民が見た中国の戦場 女性の目線でとらえた戦争も	しが民報
		15	米英国旗、力込め踏みつけた 少年期の戦争体験語る	滋賀報知新聞
		15	平和の催し 中止相次ぐ 台風7号 今日最接近	朝日新聞
	9	21	滋賀県民が見た中国の戦場	おうみ通信
1		父母の戦争体験を詳しく聞いていない	滋賀報知新聞	
2		災害で水にぬれた資料修復の講習会	中日新聞	
8		水害資料の応急処置学ぶ	滋賀報知新聞	
22		「飛燕」エンジン展示、近日中に	滋賀報知新聞	
25		「飛燕」エンジン東近江で守る	読売新聞	
29		旧陸軍戦闘機「飛燕」エンジン公開始まる	中日新聞	
29		「飛燕」エンジン 間近に	読売新聞	
29		「飛燕」エンジン公開	毎日新聞	
29		「飛燕」エンジン 一般公開	京都新聞	

年	月	日	内 容	報道機関
令和5	10	1	平和学習支援の取り組み	滋賀報知新聞
		2	地中から発見 戦闘機「飛燕」のものか？	朝日新聞
		4	市民有志の熱意で保存・展示を実現	滋賀報知新聞
		17	軍が隠した？ 戦闘機「飛燕」エンジン	産経新聞
	11	3	ボランティア活動	滋賀報知新聞
		19	カナダ移民に思いはせ	京都新聞
	12	1	令和5年度地域交流室展示 破られた約束	滋賀報知新聞
		2	戦時カナダ移民の苦難 県平和祈念館で全国巡回展	毎日新聞
		18	戦時下の日系カナダ人	おうみ通信
		25	湖国この一年2023 「飛燕」エンジン発見	京都新聞
令和6	1	6	地域交流展示「破られた約束」	滋賀報知新聞
		7	継続は力なり	滋賀報知新聞
		14	戦中の生活 日用品、価格表で知る	中日新聞
		21	企画展「暮らしの中の戦争」	滋賀報知新聞
	2	9	県平和祈念館が開館12周年行事	滋賀報知新聞
		10	出張 あさ彦 滋賀県平和祈念館	あさ彦倶楽部
		11	「暮らしの中の戦争 一日々の生業と食事」	滋賀報知新聞
		16	3月20～24日 入場無料 開館12周年行事	滋賀報知新聞
		24	「飛燕」が語る東近江の戦争	産経新聞
	3	3	開館12周年 記念ウィークについて	滋賀報知新聞
		17	暮らしの中の戦争	湖国とりびゆめ
		29	短信	滋賀報知新聞
		31	見どころ案内 「暮らしの中の戦争 一日々の生業と食事」	しが民報



### 3 組織（令和6年3月現在）

#### （1）職員

館長	朝倉 敏夫
所長	松本 孝晴
主任専門員	田井中洋介
副主幹	中西 まこ
副主幹	城野 達也
主査	上田 智史
主任主事	川副 順平
会計年度任用職員	日高 昭子
会計年度任用職員	梅山 光彦
会計年度任用職員	木俣 美好
会計年度任用職員	杉村 陽子
会計年度任用職員	近藤 恵

#### （2）職員構成

区分	館長	行政職	学芸員	教育職	会計年度任用職員	合計
人数	1	3	1	2	5	12

#### （3）滋賀県平和祈念館運営会議

座長	朝倉 敏夫	（滋賀県平和祈念館 館長）
委員	野村 赤一	（八日市郷土文化研究会 理事）
	中井 均	（滋賀県立大学 名誉教授）
	今堀 治夫	（一般財団法人滋賀県遺族会 会長）
	野瀬 隆行	（東近江市立愛東コミュニティセンター 館長）
	大平 健太郎	（あいとうマーガレットステーション 専務理事）
	内田 知弥	（東近江市企画部企画課 課長）
	福島 栄寿	（滋賀県平和祈念館ボランティアの会 会長）
	西澤 美重子	（滋賀県平和祈念館ボランティアの会 副会長）

#### （4）滋賀県平和祈念館展示等監修委員

委員	原田 敬一	（佛教大学 名誉教授）
	原山 浩介	（日本大学法学部 教授）

#### 4 決算（令和5年度）

##### ○歳入状況

（単位：円）

科 目	決算額
基金繰入金	38,625,205
国庫支出金	2,932,700
諸 収 入	1,557,901
寄 附 金	535,161
一 般 財 源	0
合 計	43,650,967

##### ○歳出状況

（単位：円）

事 業 名	主 な 事 業 内 容	決算額
管 理 運 営 費	施設維持管理費、施設運営費等	29,486,923
展 示 事 業	企画展示、特別企画展示、地域交流室展示	1,858,058
資 料 収 集 保 存 事 業	収蔵資料防虫防かび対策、収蔵資料等デジタルデータ管理・公開システム運用等	2,617,749
普 及 啓 発 事 業	映画上映会、平和の学校あかり等	1,873,157
平 和 学 習 支 援 事 業	平和を願う子どもピースメッセージ絵画コンクール事業等	3,055,680
D X 推 進 事 業	平和学習コンテンツ制作、展示ガイドアプリ導入	4,759,400
合 計	計	43,650,967

## 5 施設概要

所在地 滋賀県東近江市下中野町 431 番地

### 建物概要

構造	鉄筋コンクリート	2階建
敷地面積	2,864.00㎡	
延床面積	3,115.45㎡	
	1階	1,759.03㎡
	2階	1,356.42㎡

開館年月日 平成24年(2012年)3月17日

### 平面図



## 6 利用案内

入館料	無料
開館時間	午前9時30分から午後5時
休館日	月曜日および火曜日（ただし祝日にあたる場合は開館） 年末年始（12月28日～1月4日） ※その他、業務の都合により休館する場合があります。
駐車場	約50台（無料）
アクセス	



- ・名神高速道路「八日市IC」から車で約10分
- ・JR琵琶湖線（東海道線）彦根駅または近江八幡駅乗り換え、近江鉄道八日市駅からバスで約20分「愛東支所・診療所前」下車すぐ

## 7 関係規程

滋賀県平和祈念館の設置および管理に関する条例

平成 23 年滋賀県条例第 48 号

### (設 置)

第 1 条 県民に戦争の悲惨さおよび平和の尊さを伝えることにより、平和を願う豊かな心を育み、もって平和な社会の発展に資するため、滋賀県平和祈念館（以下「平和祈念館」という。）を東近江市下中野町に設置する。

### (業 務)

第 2 条 平和祈念館は、次に掲げる業務を行う。

- (1) 県民の戦争に関する体験の記録その他の資料（電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作られた記録をいう。）を含む。以下「資料」という。）を収集し、保管し、展示し、および利用に供すること。
- (2) 平和を願う豊かな心を育むために必要な普及啓発を行うこと。
- (3) その他平和祈念館の設置の目的を達成するために必要な業務

### (開館時間等)

第 3 条 平和祈念館の開館時間は、午前 9 時 30 分から午後 5 時までとする。

2 平和祈念館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日および火曜日（国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日である場合を除く。）
- (2) 12 月 28 日から翌年の 1 月 4 日までの日

3 知事は、必要と認めるときは、第 1 項に規定する開館時間を変更し、または前項に規定する休館日を変更し、もしくは臨時に休館日を定めることができる。

### (特別観覧の許可)

第 4 条 平和祈念館が保管する資料の熟覧、模写、模造、撮影その他の利用（以下「特別観覧」という。）をしようとする者は、規則で定めるところにより、知事に申請し、その許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 知事は、前項の規定による申請があった場合において、次の各号のいずれかに該当



するときは、同項の許可をしないことができる。

- (1) 平和祈念館における秩序を乱し、または善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき。
- (2) 資料または平和祈念館の管理上支障があると認められるとき。
- (3) その他特別観覧を許可することが適当でないとして認められるとき。

3 知事は、第1項の規定による許可をする場合においては、資料または平和祈念館の管理上必要な限度において、条件を付すことができる。

(特別観覧の許可の取消し等)

第5条 知事は、次の各号のいずれかに該当するときは、前条第1項の規定による許可を取り消し、または特別観覧を制限し、もしくは特別観覧の停止を命ずることができる。

- (1) 前条第1項の許可を受けた者（以下「特別観覧者」という。）が詐欺その他不正の行為によって同項の許可を受けたとき。
- (2) 前条第2項各号のいずれかに該当することとなったとき。
- (3) 特別観覧者がこの条例またはこの条例に基づく規則の規定に違反したとき。
- (4) 特別観覧者が前条第3項の規定により付された条件に違反したとき。
- (5) 当該許可に係る資料が災害その他の事故により特別観覧に堪えなくなったとき。
- (6) その他知事が特に必要と認めたとき。

(委 任)

第6条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、規則で定める。

付 則

この条例は、平成24年3月1日から施行する。ただし、第2条第1号（資料の展示および利用に係る部分に限る。）および第4条の規定は、同月17日から施行する。

---

滋賀県平和祈念館 年報 第12号 (令和5年度)

発行日 令和6年(2024年)8月20日  
編集・発行 滋賀県平和祈念館  
〒527-0157 滋賀県東近江市下中野町431番地  
TEL 0749-46-0300 / FAX 0749-46-0350  
E-Mail [heiwa@pref.shiga.lg.jp](mailto:heiwa@pref.shiga.lg.jp)  
印刷 株式会社 ヒコハン

---



滋賀県平和祈念館 HP



この冊子はグリーン購入法適合紙を使用しています